

ご挨拶

新任医師のご紹介

イベントのご紹介

連携医療機関のご紹介



vol.87
2024.8

JCHOだより
うえーぶ
Wave



独立行政法人 地域医療機能推進機構
東京高輪病院

医療連携・患者支援センター

〒108-8606 東京都港区高輪3丁目10番11号
TEL: 03-3443-9576 FAX: 03-3443-9570
https://takanawa.jcho.go.jp/

病院理念

心のこもった医療を安全に提供します。

20年目の高輪の夏

JCHO東京高輪病院 副院長 山本 雅人

やまもと まさと



残暑お見舞い申し上げます。
内科系副院長の循環器内科の責任者をしています山本雅人です。日頃からの当院との医療連携誠に有難うございます。当院に赴任して、20年が経ちました。その年の夏も猛暑で品川駅から病院に向かう柘榴坂を汗を拭きながら登っていました。私が赴任した7月に歓迎会を兼ねた納涼会（だったと思います。）があって、その場で、「山本が来て良かったと言われるように頑張ります！」と当時 30代半ばの私が挨拶したことを今も覚えております。

ありましたし、近年では増えゆく心不全患者様にも対応しています。コロナ禍では専門領域より病院あげてのコロナ診療に力を注ぎました。これからも、時代の変化に対応してその時々で地域に必要な医療を見極め、ある時は創り出し提供することを続けていきます。

20年経って、その言葉は実行できたのか？
私は循環器内科を専門として、主に心臓・血管の診断・治療を軸に地域で必要とされる医療を行ってまいりました。20年間常に同じというわけではなく、心筋梗塞などの急性冠症候群に対する緊急カテーテルが多い時期も

病院が地域から必要とされる医療を提供するためには、安定した患者様は地域の先生方と一緒に診て行く体制が必要です。お願いする機会も多くなりますが今後ともよろしく申し上げます。20年前の私の言葉がこの病院・この地域でも実現できるように頑張りますのでよろしく申し上げます。
残暑厳しき折、どうぞご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

整形外科就任のご挨拶

～私が大切にしていること～チーム医療～

くまもと ひさお

整形外科医師 熊本 久大

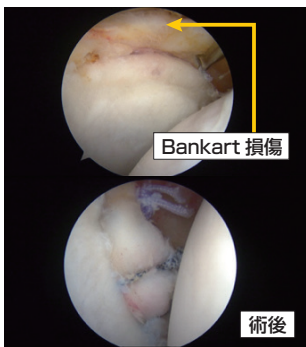


この度ご縁を頂き東京高輪病院に勤務することになりました熊本 久大と申します。専門は肩関節外科・関節鏡手術・スポーツ整形です。これまで様々な病院やスポーツ現場で研鑽を積み、2000件を超える肩関節手術に携わらせて頂きました。その経験をもとに皆様の治療にあたらせて頂きたいと思えます。

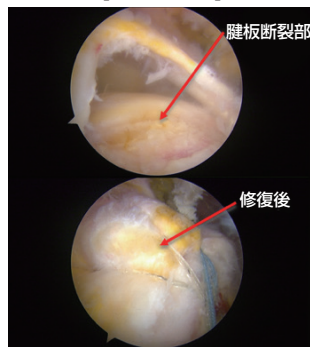
まず肩関節ですが、代表的なものは腱板断裂や肩関節脱臼となります。これらは左図のように関節鏡で手術をします。しかし肩関節は人体で最も大きな可動域を持つ関節であり、複雑な筋・腱の働きで安定性と可動性を得ているため手術しただけで治るものではありません。術後しっかりとリハビリテーションが必要となります。スポーツ整形では最も重要なのはケガをさせない予防医学と、重症化する前の早期発見です。ここにはアスリートのみではなく現場の監督やコーチの理解と協力が不可欠です。さらに大規模国際大会などマシガザリングイベントにおいては医療安全管理や災害・テロ対策、COVID-19 対策も必要であり、これもスポーツドクターの大事な仕事の一つであると同時に医療従事者以外の方の協力もなければ、とても成しえることは出来ません。

つまり医療には看護師や理学療法士・作業療法士、現場のコーチやご家族の協力といったチーム医療がとても重要です。そのことを常に心がけ、慢心することなく、患者様がいつでも気軽に受診・相談できる環境を作り、質の高い医療を提供できるように努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【反復性肩関節脱臼】



【肩腱板断裂】



脳神経内科のご紹介

～神経疾患を幅広く診察します～

ぬまお しんいちろう

脳神経内科医師 沼尾 紳一郎



2024年4月より脳神経内科に着任しました沼尾紳一郎と申します。着任後、脳神経内科では特に神経救急疾患の治療に注力しております。

全身管理を要する神経救急疾患に関しても迅速に対応できる体制を整えています。

脳卒中においては tPA 静注療法や血栓回収術などの超急性期治療や頸動脈ステント留置術などの血管内治療を行っており、脳梗塞の発症 / 再発予防のための専門的な治療が可能となりました。さらに、今年度中に最新の血管造影装置の導入が予定されており、未破裂脳動脈瘤の治療などより高度で効果的な治療も可能となります。

外来診療では片頭痛に対する抗 CGRP 抗体の投与が可能であり、従来の治療で効果が得られなかった患者様にも新たな治療の選択肢を提供しています。

また脳神経内科として強みとして、脳卒中のみならず、髄膜炎、ギランバレー症候群、重症筋無力症急性増悪、けいれん重積などの脳神経分野での緊急を要する症例にも対応が可能です。2024年4月から HCU も稼働しており、

微力ながら地域の皆様のお役に立てるよう、患者様一人ひとりに最適な治療を提供することを心がけております。どのような症状でも、お気軽にご相談ください。何卒よろしくお願い致します。



新任医師のご紹介



消化器内科

主な対象疾患

悪性疾患: 食道癌、胃癌、大腸癌、GIST、胆管癌、膵臓癌、

境界疾患: 胃腺腫、大腸ポリープ、膵嚢胞性疾患 (IPMN等)

良性疾患: 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、虚血性腸炎、大腸憩室炎、憩室出血、総胆管結石、急性胆管炎、急性胆嚢炎、急性膵炎、慢性膵炎

きしもと ゆうい
岸本有為

専門分野: 胆道・膵臓疾患に対する内視鏡治療 (超音波内視鏡・ERCP)、膵癌・胆道癌に対する化学療法、急性・慢性膵炎、ESWL、消化管ステント治療

患者様の御紹介はいつでも歓迎いたします。胆膵には、急性胆嚢炎、膵炎などの急性疾患から、癌化リスクを有する膵嚢胞性腫瘍、予後不良として知られる膵胆道癌、そして癌との鑑別診断が困難な自己免疫性膵炎や硬化性胆管炎など、多種多様な疾患が生じます。

胆膵疾患は画像診断が治療方針を決めることが多く、様々な検査法を用いて正確な診断を行えるように努めております。特に腫瘍性病変に対する良性・悪性の鑑別は、腹部超音波 (US)、造影 CT、造影 MRI、MRCP だけでなく、超音波内視鏡 (EUS) は、通常の CT などでは見つけることができない早期膵がんの発見や膵嚢胞・胆嚢ポリープの鑑別診断に威力を発揮します。また、超音波内視鏡の映像を見ながら膵臓の腫瘍に対して針生検を行、超音波内視鏡下吸引針生検 (EUS-FNA)、内視鏡的逆行性胆管・膵管造影 (ERCP) を施行して総合的な診断を行っています。総胆管結石に対する内視鏡的治療では、乳頭切開術 (EST) または巨大な総胆管結石に対して内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術 (EPLBD) を行い、砕石・採石デバイスを用いて治療を行っています。また、体外衝撃波 (ESWL) を用いて、低侵襲で、膵石・難治性胆管破砕術を行う治療も可能です。切除不能な悪性胆管狭窄に対しては内視鏡的胆管金属ステント留置 (SEMS) も行っています。「バルーン内視鏡」を駆使して、診断の難しい胆管の病気を診断したり、一般的には開腹手術でしか取り出すことのできない総胆管結石を、手術をせずに内視鏡で取り出したりすることができます。

急性胆嚢炎に対しては、抗血小板剤や抗凝固剤の内服、肝硬変や腹水貯留等により PTGBD (経皮経肝胆嚢ドレナージ術) が行えない場合でも、内視鏡的胆嚢ドレナージ術を行い治療しております。

急性膵炎後の膵仮性嚢胞 (PPC) や被包化壊死 (WON) に感染を合併した場合には、EUS 下に嚢胞ドレナージを行っており、必要時には LAMS (Lumen apposing metal stent) を用いています。

超音波内視鏡下瘻孔形成術 (EUS-BD)

がんによる十二指腸閉塞や、胃術後などの再建腸管のため、解剖学的に十二指腸乳頭部にアプローチできず本来の内視鏡的胆管膵管造影: ERCP が困難な方は、これまでの内視鏡治療とは違い、胃や十二指腸から胆管を穿刺し、ステントを留置することで体外に管を繋ぐことなく閉塞した胆管の治療が出来る方法です。従来、そういった患者さんは経皮経肝的胆管ドレナージ (PTBD 体外にチューブが繋がれた状態) を常に体につけておかなければならない状態でした。患者様の苦痛が大きく、時に在宅管理が困難で自宅退院もできないなど、QOL (生活の質) が低下する事が問題点でした。胃内や十二指腸鏡内から胆管を穿刺しチューブ (ステント) を留置する事で、体外に管を繋ぐことなく閉塞した胆管の治療が出来る方法です。患者様の苦痛軽減、生活を維持する事が可能で、自宅退院にも支障がなくなり、QOL 低下を防ぐ事に大きく寄与しています。

まつの たかひさ
松野高久

東邦大学医療センター大森病院消化器内科から参りました松野高久と申します。専門は消化管内視鏡の診断治療、表在型食道癌、早期胃癌、早期大腸癌の ESD です。がん研究会有明病院で内視鏡診断治療について研修しました。また、大腸の大きな有茎性ポリープに対してのポリペクトミーや EMR も沢山経験し

てきました。近年大腸癌が増加傾向であり、高輪地区の大腸癌死亡率を下げるべく便潜血陽性や血便等の患者様の腸内視鏡検査を推し進めていきたいと考えています。腹痛や下痢等の一般的な消化器症状の患者様もぜひご紹介ください。

皮膚科



うるしばた まり
漆畑真理

出身大学・最終学歴: 群馬大学

専門分野: 皮膚科一般

今後取り組みたい分野・治療: 難治性皮膚疾患に対して抗体製剤などの導入

はじめまして、皮膚科の漆畑と申します。これまで、東邦大学医療センター大橋、大森病院皮膚科に勤務しておりましたが、このたびご縁があり、令和6年度5月より東京高輪病院で勤務させていただくことになりました。

前職では、皮膚科一般治療、褥瘡や光線治療などに関わらせていただいております。

昨今は皮膚科領域においても、革新的な有効性の高い治療法が次々と登場しており、前任者の臼井真理子先生が長年築いてきた、当院におけるこれまでの基本的な診療スタイルや治療方針は維持しながらも、患者様の状態やニーズに合った新たな治療法も選択肢の一つに加えられるように、徐々に体制を整えていきたいと考えております。

微力ではございますが、的確な診断・治療を心がけ、一人でも多くの患者様のお力になれるよう、誠心誠意、診療をして参りたいと考えております。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。



おくだ りな
奥田莉奈

出身大学・最終学歴:

東海大学 (2021年3月卒業)

専門分野: 皮膚科一般

今後取り組みたい分野・治療: 保険診療だけでなく、ケミカルピーリングなどの自費診療も積極的に行っていきます。

東邦大学医療センター大森病院皮膚科、入局2年目の奥田莉奈です。この度、7月より東京高輪病院に入職いたしました。今までは大学病院での勤務でしたので、上の先生の外来につかせていただいたり、周りに教わりながらの毎日でした。当院では大学病院とは違い、基本的には私個人の外来で日々診療をしております。漆畑先生や看護師さんたちに助けていただきながらではありますが、1人で診断・治療をしていくなかで新しい経験も多く充実した毎日を送っています。

また、当院の皮膚科では原発性腋窩多汗症のボトックス治療を行っており、多くの患者さんが効果を実感されています。夏ということもあり連日多くの予約が入っていますが、まだ比較的认知度の低い治療だと思っておりますので、これからも積極的に行っていきたいと思っております。

不束者ではございますが、1人1人丁寧に診察し、患者さんにまたお願ひしたいと思っております。いただけるような皮膚科医でありたいと思っております。何卒よろしくお願ひいたします。

市民公開講座 再開！

5年ぶりに10/26(土)外来ホールで開催します

いしはらまさなり
石原順就

動画(YouTube)で配信を続けてきた市民公開講座ですが、久しぶりに対面式で開催します。

私達の高輪病院が所属するJCHO(地域医療機能推進機構)は2014年に発足し、今年は10周年を迎えることができました。10周年記念行事の一環として、市民公開講座を対面で開催して地域の方々をお迎えできることを嬉しく思っています。

私はこの10年間、市民公開講座委員長として講座運営をしてきましたが、コロナ直前の2019年12月、最後の講演会は私達の泌尿器科が担当で、製紙会社の方も招いて尿失禁やオムツのお話をしました。その直後からコロナの世界が始まったとき、院内ホールでの開催をしたことがまるで夢の世界の出来事だったような気がしたものです。久しぶりに夢がかなう日を迎えて感無量です。



今回のテーマは **認知症**です。

当院の認知症科を20年以上支えて来られました津本先生に講演いただきます。

津本先生の講演はいつも聴衆の方々の熱気があります。今回もケアのことを含めて多職種でお話します。



ご家族など当事者の方々ばかりでなく、地域でケアに関わる方々、先生方にも、認知症について俯瞰したり、現実的な課題への対処のコツなどお伝えできる機会になればと思っています。

この機会に久しぶりに高輪病院内を散策にいらしてください。

なお、もちろん引き続きYouTubeでの配信もしています。続々と新しい講座をアップロードしていますので、高輪病院のホームページから市民公開講座をクリックしてみてください。13分以内でぎゅっと凝縮してお届けしています。

最後に、高輪病院は患者さんの依頼を今まで以上に迅速に受け入れる体制を作っています！ いつでもご相談ください。

JCHO 10周年記念
コンサートについて

11月14日(木)開催

当院は、平成26年4月に独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)東京高輪病院として新たな出発をしてから10年が経過しました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大に伴い、一時休止していた地域住民との交流を目的とした院内コンサートを再開することにしました。

「JCHO 10周年記念コンサート」と題し、地域の皆様に当病院に対して親近感を持っていただくとともに、外来患者さんや入院患者さんに対して医療以外のサービスを提供することができればと、職員、職員の家族、友人などの音楽好きが集い、オーケストラで使われている楽器をクラシックから映画、ミュージカル、アニメまで幅広いジャンルの名曲と共に紹介し、どなた様にでも楽しんでいただけるコンサートを目指します。



理事長 ふじもとりゅうはちろう 藤元流八郎
院長 かわぐち ゆたか 川口 豊

17 医療法人社団鳳優会 荏原ホームケアクリニック

専門医による高度な訪問診療

都内各大学病院・基幹病院との連携による 25 年の訪問診療実績

医療法人社団鳳優会 荏原ホームケアクリニックは、訪問診療黎明期より、一般内科疾患のほか、難病、癌末期緩和などの管理に尽力してきました。とくに脳神経内科、緩和ケア内科、消化器内科、リウマチ・膠原病内科については、主治医の診療だけでなく必要時に疾患ごとの横断的な院内コンサルティングを行えるよう常勤専門医によるセンター制をとっております。呼吸器内科、泌尿器科、皮膚科についても大学病院派遣による非常勤医（教授含む）と共同して診療にあたっております。東京高輪病院をはじめとした地域基幹病院との連携ご指導を基に、他機関で訪問診療困難といわれたケースでも受け入れ可能なことがありますので、当院総合相談室にお気軽にご連絡頂けますと幸いです。



診療の他、専門医受験予定医師・研修医・医学系学生・看護師などの教育、研究、各学会発表、地域講演にも力をいれており、在宅の大学病院を目指して日々研鑽を積んでおります。

グループ内に、訪問歯科・訪問看護・訪問美容室も内包し、疾患の管理だけでなく、安心・快適な在宅療養生活が送れるようにサポートを行っております。“患者さんが心待ちにしてくれる親身で優しい医師・スタッフであること”“ご紹介元に喜ばれる連携機関であること”も常に意識し、引き続き地域医療のために努力を続けて参りたいと考えております。今後とも密な連携を何卒よろしくお願い申し上げます。

グループ内に、訪問歯科・訪問看護・訪問美容室も内包し、疾患の管理だけでなく、安心・快適な在宅療養生活が送れるようにサポートを行っております。“患者さんが心待ちにしてくれる親身で優しい医師・スタッフであること”“ご紹介元に喜ばれる連携機関であること”も常に意識し、引き続き地域医療のために努力を続けて参りたいと考えております。今後とも密な連携を何卒よろしくお願い申し上げます。

〒142-0041 東京都品川区戸越5-14-24 ITOビル5階
電話：03-5788-6088
<https://www.homecareclinic.or.jp>



18 南 医 院

院長 みなみ とも ゆき 南 智之

東品川の南医院です



開業医にはよくある話ですが、この地で祖父が開業し、父、私と診療を続けてきました。父の頃から通院されている80～90歳代のご高齢の患者様も多く通院して頂いております。いつもの患者さんは、いつもお会いしているからこそ、いつもと何か違う、ちょっとした変化が分かることがあります。時代遅れなのでしょうが、この感覚はPCモニターを介した診療では感じ取りにくいかもしれません。患者さんと共に私も年を取り、気が付けば患者さんの訴えを徐々に実感できてしまう年齢になり始めていました。生活習慣病等の患者さんの日々の健康サポートが出来ればと考えています。

専門的治療を要する急病の場合や、慢性の病気で通常経過から外れ始め、専門的治療や助言を必要とするときなどに、高輪病院の皆様にお世話になっております。

特に窓口となって下さる地域医療連携室の皆様は当方にとって大変重要な存在です。いつも電話口での問い合わせ、緊急受診時の診療科や病棟との交渉連絡を迅速にやって頂き、感謝と共に大変心強く思っております。

これからも宜しくお願い致します。



〒140-0002 東京都品川区東品川1-6-25
電話：03-3471-3810